

この美術の行方

全7回 6講演会+1シンポジウム

これからの美術の行方 ゆくえ



日本美術家連盟の『部門改定』を記念して、講演会『これからの美術の行方』を開催します。

独自の視点で美術を見つめてきた論客をお招きし、美術が歩むべき道程を語り尽くす全7回のシリーズ講演会+シンポジウム。
ぜひご参加ください。

お申込みは右記QRよりお願いします。お申し込みいただかなくても、会員/一般の方ともに無料でご入場できますが、事前のお申込みがない場合は、お席の用意ができない場合があります。
なお、本講演会は、ユネスコ公認のワールド・アートデー関連イベントです。

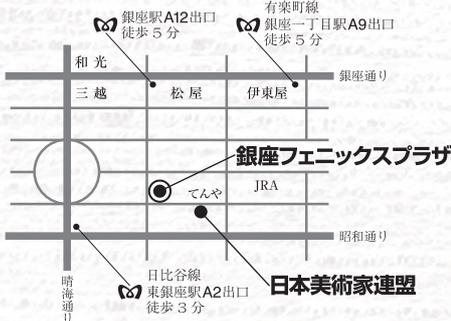
お申込みはこちら▼

申込フォーム

**場所・時間：各講演会共通
入場無料**

銀座フェニックスプラザ
東京都中央区銀座3-9-11 紙バルブ会館
☎03-3543-8118

14:00—16:00(予定) 席数：50席程度



青柳 正規 『美術と社会』

4月1日(土) 銀座フェニックスプラザ 14:00—16:00(予定)

(あおやぎ・まさのり) 歴史学者・考古学者(西洋美術史・西洋古典考古学) 1944年生。東京大学名誉教授、日本学士院会員、文化功労者。
現在：山梨県立美術館館長、多摩美術大学理事長、ほか



佐藤 道信 『近現代日本における「美術」の展開』

4月23日(日) 銀座フェニックスプラザ 14:00—16:00(予定)

(さとう・どうしん) 美術史学者 1956年生。1999年『明治国家と近代美術』でサントリー学芸賞、倫雅美術奨励賞受賞。
現在：東京藝術大学教授



武田 厚 『地球規模で共生する自然体の美術—ガラス彫刻の現在』

6月3日(土) 銀座フェニックスプラザ 14:00—16:00(予定)

(たけだ・あつし) 美術評論家 1941年生。山種美術館学芸員、北海道立近代美術館学芸部長、横浜美術館副館長等を務め、展覧会の企画・著書多数。
現在：多摩美術大学客員教授、ほか



李 美那 『文化の多様性と日本の美術—美術留学生の目に映る日本(仮)』

7月1日(土) 銀座フェニックスプラザ 14:00—16:00(予定)

(り・みな) 美術史学者 1966年生。静岡県立美術館学芸員、神奈川県立近代美術館主任学芸員等を務め、展覧会の企画多数。
現在：東京藝術大学准教授



土方 明司 『美術館の現場から』

7月22日(土) 銀座フェニックスプラザ 14:00—16:00(予定)

(ひじかた・めいじ) 美術史学者 1960年生。練馬区立美術館準備室、平塚市美術館館長代理等を務め、展覧会の企画・著書多数。
現在：川崎市岡本太郎美術館館長



木下 京子 『日末における美術状況の変化に伴う認識の相違と世代間ギャップについて』

9月23日(土) 銀座フェニックスプラザ 14:00—16:00(予定)

(きのした・きょうこ) 美術史学者 主に近世日本絵画史、および在米日本美術コレクションと移動史について研究。展覧会企画・論文多数。
現在：多摩美術大学教授、フィラデルフィア美術館東洋美術部学芸員

***最終回の「シンポジウム」に関しては本紙次号以降にてご案内します。**